



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所： 新潟市横越総合体育館
 試合区分： 成年女子 3回戦
 開催期日： 2009年10月4日（日）
 開始時間： 11:45

GAME No. 1004C2

主審： 金子 慶子
 副審： 島 正哉

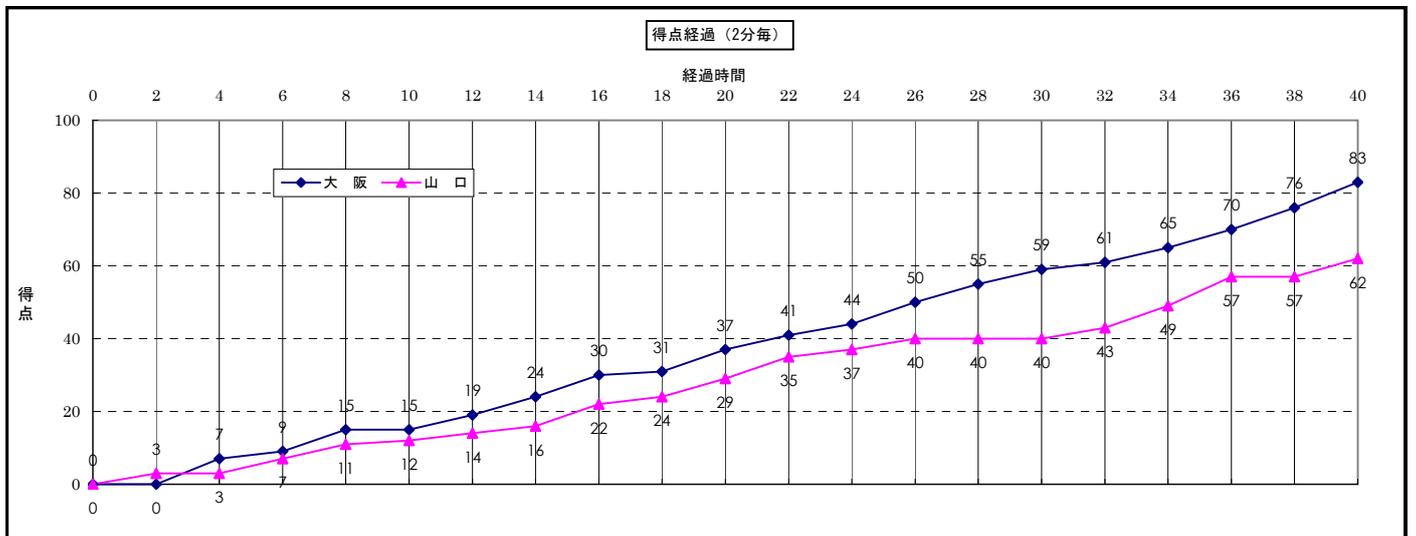
Team A	○	15 -1st- 12 22 -2nd- 17 22 -3rd- 11 24 -4th- 22	●	Team B
大阪	83		62	山口

TEAM A		大阪					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		山本 由佳	0	0	0	0	0
5		宗近 尚子	0	0	0	0	1
6	*	川西 友子	19	0	6	7	3
7	*	根東 里紗	5	1	1	0	3
8		公文 真衣	3	1	0	0	0
9	*	落合 明子	11	0	4	3	1
10	*	三宅 瞳	13	0	5	3	4
11	*	安川 明德	15	1	5	2	0
12		原田 恵理	10	0	3	4	1
13		笠松 梓	2	0	0	2	1
14		笠松 梢	5	1	0	2	0
15							
Coach		田村 真理子					0
TOTAL			83	4	24	23	14

TEAM B		山口					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	児玉 美菜子	17	0	8	1	1
5		井上 亜美	0	0	0	0	4
6		宮本 早紀	2	0	1	0	2
7	*	畑 美由紀	13	0	5	3	3
8		谷村 浩代	0	0	0	0	4
9	*	原田 麻理	6	0	3	0	4
10	*	藤井 美沙	0	0	0	0	1
11	*	植田 千賀子	16	3	3	1	3
12		岡 歩	-	-	-	-	-
13		奥田 つかさ	0	0	0	0	0
14		市川 敬子	8	0	4	0	4
15							
Coach		梅田 貴之					0
TOTAL			62	3	24	5	26

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	13:11	-	35:48		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	6:33	18:23	24:13	27:44		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームともにハーフマンツーマンのディフェンス。立ち上がり、両者ともミスが多く、得点が伸び悩んだが、大阪 #9 落合のリバウンドシュートや山口 #4 児玉のドライブインシュートで試合が動き始める。残り3分頃から、大阪は #11 安川のゴール下や #7 根東のミドルシュートでリードを広げるが、山口も #14 市川のドライブインや #4 児玉のゴール下シュートなどで対抗し、15-12、大阪3点リードで1Q終了。

2Q、立ち上がり大阪は、#10 三宅のゴール下シュートが連続で決まり、流れをつかみかけるが、その後は続かず、逆に山口の反撃を受ける。#7 畑のカットインシュートがきれいに決まったところで、大阪はタイムアウト。中盤は両チームともにシュートの決定率が高くなり、一進一退の攻防が続くが、残り1分、山口は、大阪 #9 落合にゴール下のシュートを決められ、7点差になったところでたまたまタイムアウト。その後、ノータイムで山口 #6 宮本がドライブシュートを決めるが、37-29、大阪8点リードで前半終了。

3Q、両チームともディフェンスのプレッシャーを強くしようとする意識が高まるが、ファールが増えた山口は、開始5分でチームファールが5つとなりタイムアウト。対する大阪は、中盤以降 #10 三宅を中心にリバウンドで優位に立つとともに、#11 安川や #6 川西がスティールからの速攻を立て続けに決め、59-40と差を広げて最終クォーターへ。

4Q、粘る山口は、オールコートディフェンスが徐々に効き始め、#4 児玉や #14 市川がドライブシュートを連続で決めるなどで追い上げをみせる。しかし、大阪はファールで得たフリースローを確実に決めるとともに、終盤 #12 原田のゴール下のシュートでリードを広げ、83-62で準々決勝に勝ち進んだ。

記載責任者 佐藤 光 (所属) 新潟県バスケットボール協会